

## 2016 年度前期 学生による授業評価アンケートの結果 報告書

2016.11.02. 教育情報分析室

本報告の目的は、2016 年前期の原則全授業について行った授業評価の結果を集計・整理することによって、教育の質の向上や授業改善に活用する情報を得ることです。詳しくは「**授業評価による教育の質の向上と授業改善の方針**」をご覧ください。

## I 共通評価項目の集計および整理の仕方について

東北福祉大学授業評価等実施要項第 8 項第 2,3 号によれば、

2 基幹的科目は、原則として、次の各号によるものとする。

- (1) 総合基礎課程の基幹的科目については、総合基礎科目の全授業科目を対象とし、リエゾンゼミⅠ、リベラルアーツ(建学の精神に関する科目を含む)、外国語、スポーツ実技に分けるものとする。
- (2) 学科の基幹的科目については、専門科目の全授業を対象とする。
- (3) 研究科専攻の基幹的科目については、専門科目の全授業を対象とする。
- (4) その他、学科等が指定する追加又は除外の授業科目とする。

3 分析は、次の各号によるものとする。

- (1) 基幹的科目の全学共通評価項目の評価の全学の平均値
- (2) リエゾンゼミⅠ及び学科の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の学科コースごとの平均値
- (3) 研究科専攻の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の専攻分野ごとの平均値
- (4) その他、必要な分析

(授業評価等実施要項 20161010 追加改正案 ver5 より)

そこで、2016 年前期授業評価については、前期開設全科目を①～⑧の 8 カテゴリに分け、A～C の 3 種の授業評価項目（アンケート）を組み合わせ実施した。「④ 1. (4)の外国語科目」は、A 全学共通項目（実施 4）と C 外国語追加項目（実施 9）の両方を授業評価アンケートとして実施したことになる。

表 科目カテゴリと実施項目（アンケート）の関係

			授業評価項目（アンケート）の種類		
			A全学共通項目	B学外実習共通項目	C外国語追加項目
科目 カテ ゴ リ	総合基礎教育（学部）	①	1. (1)リエゾンゼミⅠ	実施 1	
		②	1. (2)リベラルアーツ	実施 2	
		③	1. (3)スポーツⅠ	実施 3	
		④	1. (4)外国語	実施 4	実施 9
	専門（学部）	⑤	2. (1)共通科目	実施 5	
		⑥	2. (2)演習科目	実施 6	
		⑦	3. 学外実習科目		実施 8
	専門（大学院）	⑧	4. 大学院科目	実施 7	

\* 2016 年度前期に開講されたが回答率 = 0 だった科目はこの報告の対象科目から除外した。

\* 「⑤ 2. (1)共通科目」には今回の集計整理には「卒業論文」「卒業研究」は含めている。2016 年後期から、「卒業論文（研究）共通項目アンケート」を作成し別枠にして集計・整理する予定。

## ●科目カテゴリについて

「② 1. (2)リベラルアーツ」とは、総合基礎教育科目から「リエゾンゼミⅠ」「スポーツⅠ」「外国語（英語、ハングル語、中国語、ドイツ語、日本語等）」を除いたすべての科目を合わせたカテゴリ（禅のこころ、〇〇入門、〇〇の基礎、福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ…）である。「⑤ 2 (1)共通科目」はすべての学科等で開講されている科目から「⑥ 2. (2)演習科目」を除いた科目である。「⑥ 2. (2)演習科目」はいわゆる“ゼミ（ナール）”である。「⑧ 4. 大学院科目」は 2 研究科（総合福祉学、教育学）で開講

された研究指導、演習、講義などすべての科目を含んでいる（ただし、回答率＝0の科目は対象から除いてある）

### ● 3種の授業評価項目（アンケート）について

**A 全学共通項目**は、Ⅰ. 基本属性（所属学科、学年、性別、履修目的・理由）、Ⅱ この授業へのあなた自身の取り組み方（4項目）、Ⅲ この授業への教員の取り組み方（11項目）、Ⅳ この授業（4項目）、Ⅴ この授業を受けた結果（7項目）、そしてⅥ 授業およびシラバスについて、良かった点、改善点（自由記述）、からなる。

**B 学外実習共通項目**は、Ⅰ. 基本属性、Ⅱ. あなた自身の学外実習等への取り組み、Ⅲ. 実習への本学教員および実習先の指導者の取り組み方、Ⅳ. 実習を行った結果、Ⅴ. 実習およびシラバスや実習の手引きまたは実習要項などについて、よかった点、改善してほしい点や要望、改善の提案（自由記述）、からなる。

**C 外国語追加項目**は、「学んでいる言語に触れる機会を十分に与えていたか」「授業であまり重視されていないスキルは」「外国の文化や国際コミュニケーションへの関心は高まったか」「最も伸びたスキルは」など計8項目からなる。

なお、各評価項目の詳しい内容については、巻末の参考1～3を参照のこと。平均値で結果を表示する評価項目には、1～4の選択肢があり、1が低い評価、4が高い評価を表し、2.5が中間を意味する。

#### (1) 基幹的科目の全学共通評価項目の評価の全学の平均値

前頁の表の実施1～7（実施8（学外実習科目）と実施9（外国語追加項目）を除いた）の全科目の共通項目の合算結果を以下に示す。（のべ回答者数は、27,447名分）

#### I. 基本属性

学科等	社福	社教	福心	福行	産福	情福	子ども	教育初等	教育中等
のべ回答者数	6,886	844	2,878	1,218	1,080	1,014	1,849	4,708	739
%	25.1%	3.1%	10.5%	4.4%	3.9%	3.7%	6.7%	17.2%	2.7%
学科等	保看	リハ作業	リハ理学	医経	他学部	研社福	研福心	研教育	他大学院
のべ回答者数	1,759	1,344	1,566	1,459	29	12	33	21	8
%	6.4%	4.9%	5.7%	5.3%	0.1%	0%	0.1%	0.1%	0%

学科等	1年	2年	3年	4年	修士1年	修士2年	博士1年	博士2年	博士3年	その他
のべ回答者数	11,228	8,833	5,921	1,367	23	22	7	4	7	35
%	40.9%	32.2%	21.6%	5%	0.1%	0.1%	0%	0%	0%	0.1%

性別	男	女
のべ回答者数	8,646	18,801
%	31.5%	68.5%

履修目的・理由	必修科目	資格取得	シラ興味	科目名関心	担当教員関心	勧められた	時間割都合	学びたい	役立つ
のべ回答者数	16,679	8,866	2,806	3,630	1,530	1,118	2,814	1,570	1,884
%	40.8%	21.7%	6.9%	8.9%	3.7%	2.7%	6.9%	3.8%	4.6%

\* 「履修目的・理由」は複数回答のため、%の分母は「のべ回答者数の合計＝40,897名」

## Ⅱ. この授業へのあなた自身の取り組み方

1)現時点での出席率	100%～90%	89%～70%	69%～50%	50%未満
のべ回答者数	22,925	4,164	266	92
%	83.5%	15.2%	1%	0.3%

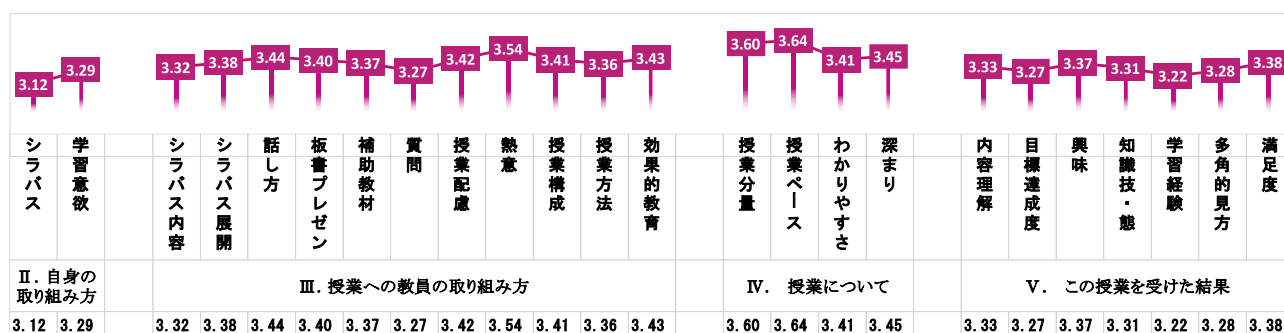
2)授業外学習（学修）時間	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満
のべ回答者数	1,499	2,061	7,273	16,614
%	5.5%	7.5%	26.5%	60.5%

3) 「シラバス」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようと思いましたか。

4) 「学習意欲」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか。

は次のグラフに含める。

Ⅲ その他の全学共通評価項目（Ⅱ あなた自身の取り組み方 3) 「シラバス」、4) 「学習意欲」、Ⅲ 授業への教員の取り組み方（11項目）、Ⅳ 授業について（4項目）、Ⅴ この授業を受けた結果（7項目）



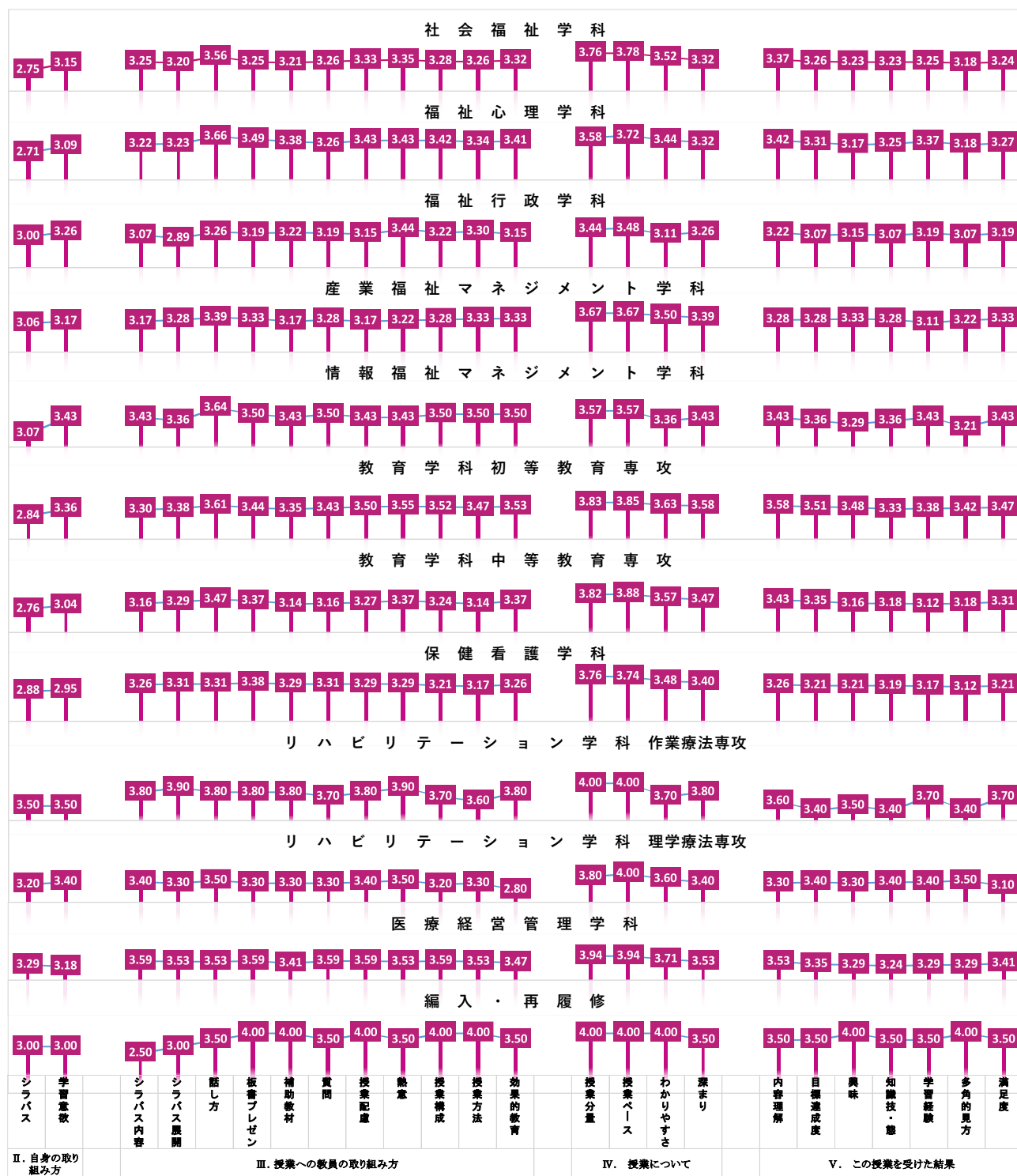
### 【コメント】

「履修目的・理由」について「必修の科目だった」「資格取得のため必要だった」の2選択肢で60%以上を超える。その一方で、「シラバスを読んで興味を持った」「授業科目名に関心を持った」がそれぞれ10%に満たない。その他の全学共通評価項目の「Ⅱ あなた自身の取り組み方 3) 「シラバス」（この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようと思いましたか。）の平均値が「3.12」と一番低いことと組み合わせると、主体的な履修計画立案にシラバスを効果的に使ってもらうにはどうすればいいのかについて、ガイダンスなどでの指導の在り方の検討、あるいは、どのような内容（情報）が含まれていると学生たちに「履修してみよう」という気持ちにさせることができるのか等、シラバスに掲載する内容（情報）の整理や検討が必要なのかもしれない。

(2) リエゾンゼミⅠ及び学科の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の学科コースごとの平均値

(2)-1 リエゾンゼミⅠの全学共通評価項目について

リエゾンゼミⅠ	社福	福心	福行	産福	情福	教育初等	教育中等	保看	リハ作業	リハ理学	医経	編入・再履修
学科等												
履修者数（名）	422	145	116	117	102	250	52	83	49	67	83	21
回答者数（名）	256	93	27	18	14	172	49	42	10	10	17	2
回答率（%）	60.7%	64.1%	23.3%	15.4%	13.7%	68.8%	94.2%	50.6%	20.4%	14.9%	20.5%	9.5%



【コメント】

7 学科等が回答率 50%を大きく下回っている。学科等間で何らかの指標を比較するのは不可能。スペースの関係上、比較可能なグラフ等として表記するが、学科ごとに結果の読み取り・検討をするのが妥当である。

どの学科等においても「シラバス」(この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようと思いましたか。)の平均値が低くなる傾向があるのは、全学共通項目と同様である。何をやる授業なのか不安な中で受講している新生に、シラバスを提示しながら主担や副担の先生方の主導の下で活動計画や内容あるいは活動の目標に見通しを持たせるなどの工夫が必要なのかもしれない。その一方で、ほとん

どの学科で「授業分量」「授業ペース」「わかりやすさ」の平均値が高平均値になる傾向がある。主担、副担の先生方の仲間づくり、新入生のペースに合わせた授業づくりなどの配慮が効果的であることを示していると推測できる。東北福祉大学の初年次教育の特色ある科目の一面を表しているといえよう。ただし、「回答率」の学科等間の偏りについては、検討の余地がある。

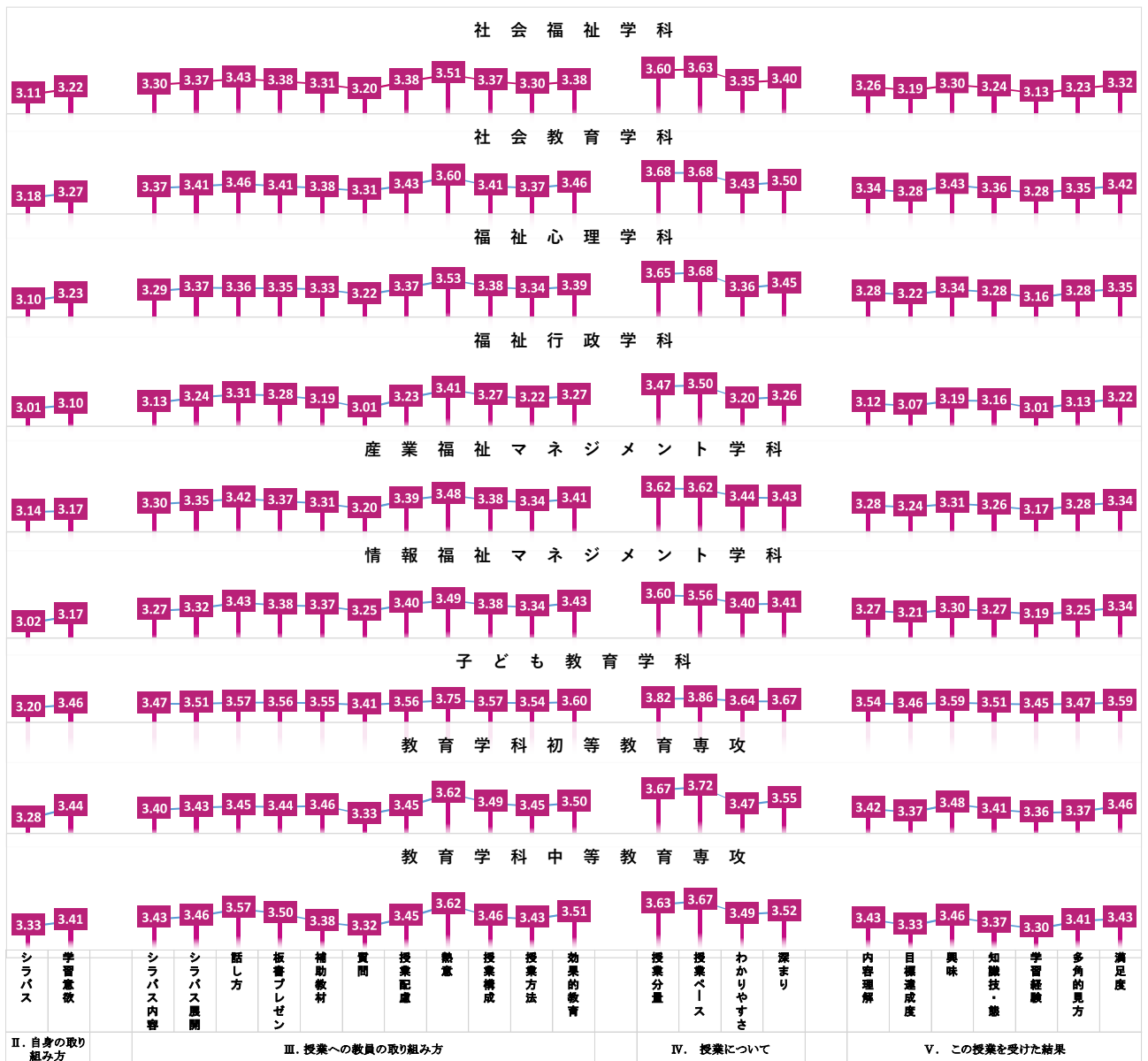
(2)-1 学科の基幹的科目の全学共通評価項目について

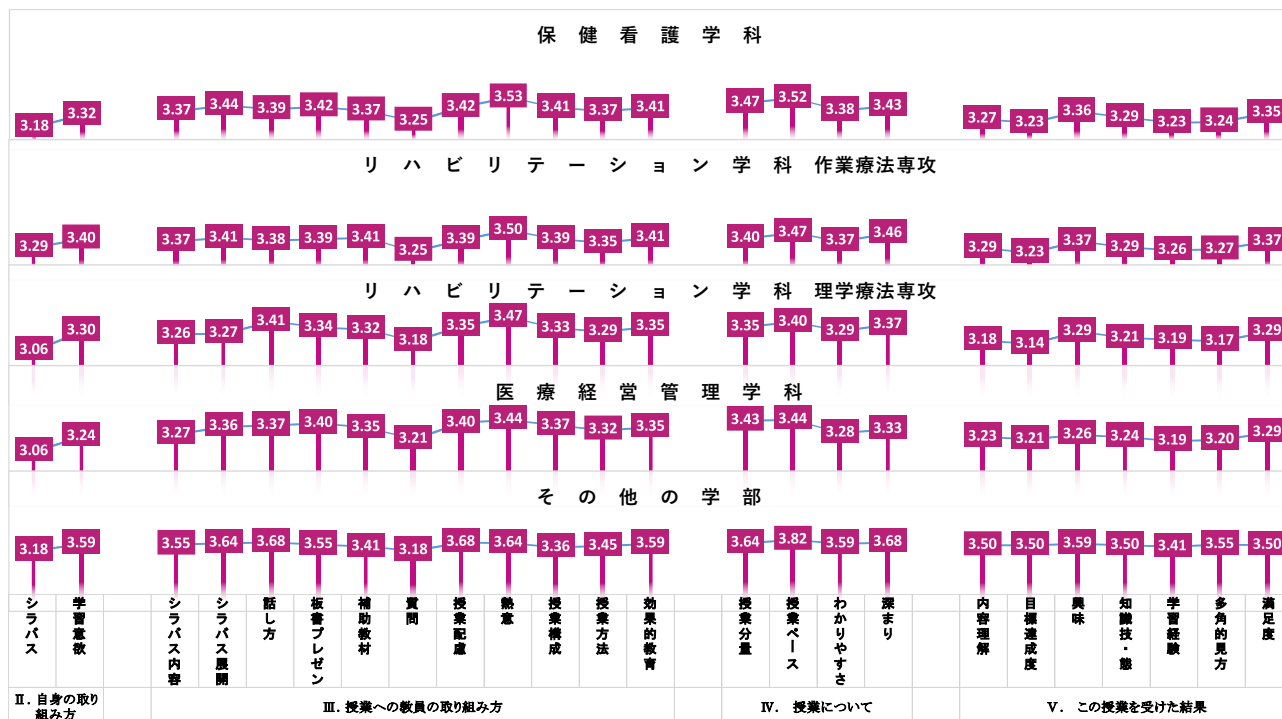
共通科目

学科等	社福	社教	福心	福行	産福	情福	子ども	教育初等	教育中等	保看	リハ作業	リハ理学	医経	他学部
のべ履修者数(名)	12961	1890	4524	1930	3058	3153	2566	4287	790	3187	1987	1767	2372	48
のべ回答者数(名)	4716	707	1887	630	560	645	1579	2902	340	1170	920	1063	997	22
回答率(%)	36.4%	37.4%	41.7%	32.6%	18.3%	20.5%	61.5%	67.7%	43.0%	36.7%	46.3%	60.2%	42.0%	45.8%

大学院は除く

●開講されている科目について、同一の学科所属の学生受講率が高い(場合によっては100%)科目もあれば、他学科受講生が混在している科目もある。そこで、今回は回答者の所属学科等ごとに「すべての専門科目(いわゆるゼミや学外実習科目を除いて)」の得点(p.1の表の実施1~7)を合計し、それを「学科の基幹的科目の合計点」とみなし、のべ回答者数で除して平均値を算出した。なお、「回答率」は、回答者が一人以上いた科目の履修者数を学科等ごとに算出した「のべ履修者数」を分母にして算出した。





【コメント】

11 学科等が回答率 50%に満たない。学科等間で何らかの指標を比較するのは不可能。スペースの関係上、比較可能なグラフ等として表記するが、学科ごと結果の読み取り・検討をするのが妥当である。

すべての学科等で、ほとんどの項目で 3.5 点に迫るあるいは超える高得点であり、どの学科等の学生からも高評価を得ていると推測できる。その一方で、「Ⅲ. 授業への教員の取り組み方」の中で他項目よりも「質問」（学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていましたか）の平均値が低い傾向も見える。EduTrack の質問機能を活用する、「オフィスアワー」には必ず研究室等に在室し対応する、毎回でなくても授業の感想や疑問点（わからなくなったこと）等を「コメントシート」「ミニットペーパー」で拾いフィードバックする等のことを通して、きめ細かく受講生の自律的な学修活動の支援をしていく工夫が求められるのではないかと。

(3) 研究科専攻の基幹的科目の全学共通評価項目の評価の専攻分野ごとの平均値

大学院

学科等	のべ履修者数 (名)	のべ回答数 (名)	回答率 (%)	2) 学年		3) 性別	
				修士1年	修士2年	男	女
研社福	17	7	41.2%	0	7	0	7
研福心	146	29	19.9%	20	9	1	28
研教育	27	12	44.4%	8	4	2	10

●修士課程において

- 回答あり＝社会福祉学専攻…5 科目／20 開講（履修者あり）科目
- ＝福祉心理学専攻…21 科目／91 開講（履修者あり）科目
- ＝教育学専攻…5 科目／27 開講（履修者あり）科目

●博士課程において、14 開講（履修者あり）科目について授業評価アンケートへの回答者は皆無

総合福祉学研究科 社会福祉学専攻											総合福祉学研究科 福祉心理学専攻												
3.29	3.10	3.71	3.71	4.00	4.00	3.57	4.00	3.86	4.00	3.86	3.86	4.00	3.43	3.71	3.86	3.86	3.71	3.14	4.00	3.14	3.71	3.00	3.86
2.83	2.78	3.52	3.59	3.79	3.59	3.48	3.62	3.76	3.72	3.76	3.66	3.76	3.86	3.86	3.72	3.76	3.48	3.38	3.69	3.41	3.55	3.48	3.79
教育学研究科 教育学専攻																							
3.33	3.00	3.50	3.50	4.00	3.92	4.00	4.00	3.83	4.00	4.00	3.92	4.00	3.92	3.92	3.92	3.75	3.83	3.67	3.83	3.67	3.83	3.67	3.92
シラバス	学習意欲	シラバス内容	シラバス展開	話し方	板書プレゼン	補助教材	質問	授業配座	態度	授業構成	授業方法	効果的教育	授業分量	授業ベース	わかりやすさ	深まり	内容理解	目標達成度	興味	知識・技能	学習経験	多角的見方	満足度
II. 自身の取り組み方		III. 授業への教員の取り組み方										IV. 授業について					V. この授業を受けた結果						

## 【コメント】

「Ⅲ. 授業への教員の取り組み方」「Ⅳ. 授業について」「Ⅴ. 授業を受けた結果」は、どの研究科専攻も、4点満点に迫る高得点である。どの研究科専攻も「Ⅱ. 授業に対する自身の取り組み方」が他の項目よりも低い傾向にあるところから、修士論文の指導担当教員を中心として、履修アドバイスに加えて、いわゆる「研究の進め方」などについて「対話」をすることによって、自立的な学修や研究に対する動機付けを高める工夫が必要と思われる。博士課程を含めて、修士課程も「回答率」をあげるよう大学院教務課と連携をとる必要がある。

## 参考1 授業評価の全学共通項目（「」内は略記）

## I 基本属性

## 1) 所属学部学科・研究科専攻分野

（社会福祉学科、社会教育学科、福祉心理学科、福祉行政学科、産業福祉マネジメント学科、情報福祉マネジメント学科、子ども教育学科、教育学科初等教育専攻、教育学科中等教育専攻、保健看護学科、リハビリテーション学科作業療法学専攻、リハビリテーション学科理学療法学専攻、医療経営管理学科、その他の学部授業の受講学生、総合福祉学研究科社会福祉学専攻、総合福祉学研究科福祉心理学専攻、教育学研究科教育学専攻、その他の大学院授業の受講学生）

## 2) 学年（1年・2年・3年・4年・修士1年・修士2年・博士1年・博士2年・博士3年・その他）

## 3) 性別（男・女）

## 4) この授業の履修の目的・理由について（あてはまるものすべてを選んでください）

- ① 必修の科目だった ② 資格取得のため必要だった ③ シラバスを読んで興味を持った  
 ④ 授業科目名に関心を持った ⑤ 担当教員（教育、研究、人柄など）に関心を持った ⑥ 教員、先輩、友人などから勧められた ⑦ 時間割の都合で履修可能な授業科目だった ⑧ 大学で学びたいまたは取り組みたいと思った ⑨ 卒業後や将来、役立つまたは必要と思った ⑩ その他（その他の場合は、その目的・理由を下記の自由記述欄に記入してください。）

## II この授業へのあなた自身の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

## 1) 授業全体を通じての現時点での出席率はどの程度ですか。

- ④ 100%～90% ③ 89%～70% ② 69%～50% ① 50%未満

（70%未満の場合は、その理由を下記の自由記述欄に記入してください。）



- 2) この授業に関連して、1 週間に平均して授業時間外（事前、事後）に学習（学修）した時間はどのくらいでしたか。  
 ④ 3 時間以上 ③ 2～3 時間 ② 1～2 時間 ① 1 時間未満
- 3) 「**シラバス**」この授業について理解するのに、シラバスを読んで役立てようとしたか。  
 ④ とても役立てようとした ③ ある程度役立てようとした ② あまり役立てようとしなかった ① 全く役立てようとしなかった
- 4) 「**学習意欲**」この授業の学習（学修）に意欲的、主体的に取り組みましたか（テーマや問題意識を持って聴く、課題に対して積極的に取り組む、質問する、ディスカッションやワークがある場合は積極的に参加するなど）。  
 ④ とても意欲的だった ③ ある程度意欲的だった ② あまり意欲的でなかった ① 全く意欲的でなかった

### Ⅲ この授業への教員の取り組み方について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

- 1) 「**シラバス内容**」シラバスの内容は、学生の身になって具体的にわかりやすく書かれていましたか。  
 ④ とてもわかりやすかった ③ ある程度わかりやすかった ② 少しわかりにくかった ① 全くわかりにくかった
- 2) 「**シラバス展開**」授業の内容と方法は、シラバスの「授業の内容」「授業の方法」に沿っていましたか。（「授業の内容」は「授業計画（テーマと内容等）」とは別です。）  
 ④ とても沿っていた ③ ある程度沿っていた ② あまり沿っていなかった ① 全く沿っていなかった
- 3) 「**話し方**」教員の話し方や声の大きさは、明瞭ではっきりとしており、聞き取りやすかったですか。  
 ④ とても聞き取りやすかった ③ ある程度聞き取りやすかった ② 少し聞き取りにくかった ① 全く聞き取れなかった
- 4) 「**板書プレゼン**」教育支援機器を活用して学習内容の視覚化や“見える化”を適切に行っていましたか（板書またはパワーポイントなどのプレゼンテーション用ソフト、視聴覚教育機器、情報通信機器、EduTrack など）。  
 ④ とても適切だった ③ ある程度適切だった ② あまり適切でなかった ① 全く適切でなかった
- 5) 「**補助教材**」授業の理解を助け深めるのに、講義・演習・実験などでは適切な補助教材（視聴覚教材や資料、事例など）を、実技・演習・実験などでは適切な指導（視聴覚教材や模範例・模範演技、実演、ロールプレイ、シミュレーション体験など）を用いていましたか。  
 ④ とても用いていた ③ ある程度用いていた ② あまり用いていなかった ① 全く用いていなかった
- 6) 「**質問**」学生が質問や意見を出しやすいように工夫を行い、質問に適切に応じていましたか（質問の促し、ペアワーク・グループワークによる質問・感想の共有、コメントシート・EduTrack の質問掲示板・非公開 Q&A・オフィスアワーの利用など）。  
 ④ とても質問しやすかった ③ ある程度質問しやすかった ② あまり用いていなかった ① 全く用いていなかった
- 7) 「**授業配慮**」授業を進める上で、教室の広さや空調、教室移動時間、実習期間などに応じた配慮を行っていましたか（板書の字の大きさ、終了時間の厳守、補講、eラーニングなど）。  
 ④ とても配慮があった ③ ある程度配慮があった ② あまり配慮がなかった ① 全く配慮がなかった
- 8) 「**熱意**」授業への熱意や意欲が感じられましたか。



④ とても感じられた ③ ある程度感じられた ② あまり感じられなかった ① 全く感じられなかった

9) 「**授業構成**」適切な授業構成を行っていましたか（講義では導入：前回の復習、ねらい、例示、問題提起など、展開：仮説検証、事例・事例、異なる知見・最新知見など、まとめ：結論、次回の予告など、演習では課題設定、問題発見解決・体験・実践、発表・報告など、実技ではウォーミングアップ、インストラクション、エクササイズ、振り返りやシェアリングなど、実習では事前学習、観察・傾聴、実践、考察など、実験では実験、データ解析、レポート作成など）。

④ とても行っていた ③ ある程度行っていた ② あまり行っていなかった ① 全く行っていなかった

10) 「**授業方法**」学習効果を高めるための授業方法の工夫（学生と教員の対面型授業や双方向授業、思考過程の“見える化”や共有化、主体的な学習など）や授業の改善に関する学生の意見などを取り入れていましたか。

④ とても取り入れていた ③ ある程度取り入れていた ② あまり取り入れていなかった  
① 全く取り入れていなかった

11) 「**効果的教育**」総合的に考えて、教員の教え方や姿勢は学習者にとって効果的でしたか。

④ とても効果的だった ③ ある程度効果的だった ② あまり効果的でなかった  
① 全く効果的でなかった

IV この授業について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 「**授業分量**」授業の分量は適切でしたか。

④ ちょうどよかった ③ 十分こなせたが、少なすぎた ② こなせたが、多すぎた  
① 全くこなせきれないほど、多すぎた

2) 「**授業ペース**」授業の進行ペースは適切でしたか。

④ ちょうどよかった ③ 十分ついていけたが、遅すぎた ② ついていけたが、速すぎた  
① 全くついていけないほど、速すぎた

3) 「**わかりやすさ**」授業はわかりやすかったですか。

④ とてもわかりやすかった ③ ある程度わかりやすかった ② 少しわかりにくかった  
① 全くわかりにくかった

4) 「**深まり**」授業は深まりがありましたか。

④ とても深まりがあった ③ ある程度深まりがあった ② あまり深まりがなかった  
① 教科書を読む程度で全く深まりがなかった

V この授業を受けた結果について、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 「**内容理解**」授業の内容がよく理解できましたか。

④ とてもよく理解できた ③ ある程度理解できた ② あまり理解できなかった  
① 全く理解できなかった

2) 「**目標達成度**」授業の到達目標が達成できた、または達成できそうですか。

④ とてもよく達成できた ③ ある程度達成できた ② あまり達成できなかった  
① 全く達成できなかった

3) 「**興味**」授業の内容に対して興味や関心が喚起されましたか。

④ とてもよく喚起された ③ ある程度喚起された ② あまり喚起されなかった  
① 全く喚起されなかった

4) 「**知能技・態**」教養あるいは専門の知識や技能、態度を身に付けることができましたか。

④ とてもよく身に付けることができました ③ ある程度身に付けることができました  
② あまり身に付けることができなかった ① 全く身に付けることができなかった

- 5) 「**学習経験**」テーマについて自ら調べ（文献、実地調査、関係者の意見聴取など）、考え、行動する学修経験を積むことができましたか。
- ④ とてもよく経験を積むことができた      ③ ある程度経験を積むことができた  
② あまり経験を積むことができなかった      ① 全く経験を積むことができなかった
- 6) 「**多角的見方**」ものごとを多角的に考え、新たな見方や柔軟な発想などができるようになりましたか。
- ④ とてもよくできるようになった      ③ ある程度できるようになった  
② あまりできるようにならなかった      ① 全くできるようにならなかった
- 7) 「**満足度**」総合的に考えて、この授業は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。
- ④ 非常に満足できるものだった      ③ ある程度満足できるものだった  
② あまり満足できるものではなかった      ① 全く満足できるものではなかった
- VI この授業およびこの授業のシラバスについて、良かった点、改善してほしい点や要望があれば、ご意見をお聞かせ下さい。
- よかった点  
改善してほしい点や要望、改善策の提案など

## 参考2 外国語科目において追加された授業評価項目（「」内は略記）

### ●IIIに追加

- 6) 「**言語機会**」授業中、教員は視聴覚教材や口頭での指導などにおいて、学んでいる言語に触れる機会を十分に与えていましたか。
- ④ 十分に与えていた      ③ ある程度与えていた      ② あまり与えていなかった  
① 全く与えていなかった
- 7) 「**言語やりとり**」授業では学んでいる言語を使ってコミュニケーションを取る機会（教員と学生および学生同士の音声による会話や文字などによるやりとり）がありましたか。
- ④ 十分にあった      ③ ある程度あった      ② あまりなかった      ① 全くなかった

### ●IVに追加

- 5) 「**教材理解度**」教材(教科書・プリント等)の難易度はおおむね適切で、理解でき、役に立つ内容でしたか。
- ④ とても理解でき役に立った      ③ ある程度理解でき役に立った  
② あまり理解できず役に立たなかった      ① 全く理解できず役に立たなかった
- 6) 「**未重視スキル**」授業であまり重視されていなかったのは以下のどのスキルでしたか。
- ① Speaking      ② Listening      ③ Reading      ④ Writing

### ●Vに追加

- 2) 「**予復習効果**」予習・復習の課題は語学のスキルを高めるのに役に立ちましたか。
- ④ とても役に立った      ③ ある程度役に立った      ② あまり役に立たなかった  
① 全く役に立たなかった
- 5) 「**外国関心**」この授業を通じて、外国語への関心だけではなく、外国の文化や国際コミュニケーションへの関心が喚起されましたか。
- ④ とてもよく喚起された      ③ ある程度喚起された      ② あまり喚起されなかった  
① 全く喚起されなかった
- 7) 「**学習方略**」受講後にも役に立つ語学学習の方略や学習方法、考え方について学ぶことができました

か。

- ④ とても学ぶことができた ③ ある程度学ぶことができた  
② あまり学ぶことができなかった ① 全く学ぶことができなかった

10) 「伸張スキル」授業を通じて、最も伸びたスキルはどれでしたか。

- ① Speaking ② Listening ③ Reading ④ Writing

### 参考3 学外実習科目の授業評価アンケートに使用した共通項目（「」内は略記）

#### I 基本属性

1) 所属学部学科・研究科専攻分野

（社会福祉学科、社会教育学科、福祉心理学科、福祉行政学科、産業福祉マネジメント学科、情報福祉マネジメント学科、子ども教育学科、教育学科初等教育専攻、教育学科中等教育専攻、保健看護学科、リハビリテーション学科作業療法学専攻、リハビリテーション学科理学療法学専攻、医療経営管理学科、その他の学部授業の受講学生、総合福祉学研究科社会福祉学専攻、総合福祉学研究科福祉心理学専攻、教育学研究科教育学専攻、その他の大学院授業の受講学生）

2) 学年 （1年・2年・3年・4年・修士1年・修士2年・博士1年・博士2年・博士3年・その他）

3) 性別 （男・女）

4) この授業の履修の目的・理由について（あてはまるものすべてを選んでください）

- ① 必修の科目だった ② 資格取得のため必要だった ③ シラバスを読んで興味を持った  
④ 授業科目名に関心を持った ⑤ 担当教員（教育、研究、人柄など）に関心を持った ⑥ 教員、先輩、友人などから勧められた ⑦ 時間割の都合で履修可能な授業科目だった ⑧ 大学で学びたいまたは取り組みたいと思った ⑨ 卒業後や将来、役立つまたは必要と思った ⑩ その他（その他の場合は、その目的・理由を下記の自由記述欄に記入してください。）

#### II. あなた自身の学外実習等への取り組みについて、以下の項目にどの程度あてはまりますか？

1) 「授業外学習」実習前の事前学習や模擬練習は十分でしたか。

- ④十分に行った ③ある程度行った ②あまり行わなかった ①全く行わなかった

2) 「現時点出席率」実習全体を通じての出席率はどのくらいでしたか。

- ④100%～90% ③89%～70% ②69%～50% ①50%未満 （70%未満の場合は、その理由を下記の自由記述欄に記入してください。）

3) 「実習外学習」この実習に関連して、1日に平均して実習時間外（事前、事後）に学習（学修）した時間はどのくらいでしたか。

- ④3時間以上 ③2～3時間 ②1～2時間 ①1時間未満

4) 「要項理解」この実習の目的と目標について、シラバスおよび実習の手引きまたは実習要項などにより理解して参加しましたか。

- ④とてもよく理解して参加した ③ある程度理解して参加した ②あまり理解せずに参加した  
①全く理解せずに参加した

5) 「意欲主体」この実習に意欲的、主体的に取り組みましたか（テーマや問題意識を持って臨む、課題に対して積極的に取り組む、質問するなど）。

- ④とても意欲的だった ③ある程度意欲的だった ②あまり意欲的でなかった ①全く意欲的でなかった

6) 「マナー」この実習におけるマナー・規則や職業上の倫理・行動指針を理解し、守るように取り組みましたか。

- ④とてもよく取り組んだ ③ある程度取り組んだ ②あまり取り組まなかった ①全く取り

組まなかった

Ⅲ) この実習への本学教員および実習先の指導者の取り組み方について、以下の項目にどの程度当てはまりますか。この実習に該当する項目又は教員の指示があった場合はその指示に従って回答してください。

1) 「**シラバス**」シラバスおよび実習の手引きまたは実習要項などの内容は、学生の身になって具体的にわかりやすく書かれていましたか。

④とてもわかりやすかった ③ある程度わかりやすかった ②少しわかりにくかった ①全くわかりにくかった

2) 「**事前指導**」実習前の本学教員によるオリエンテーションや事前指導は実習において役立ちましたか

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

3) 「**実習先オリエ**」実習開始時の実習先の指導者によるオリエンテーションは実習を進めるにあたって、役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

4) 「**実習先指導**」実習期間中、実習先の指導者による指導内容は、適切でしたか。

④とても適切だった ③ある程度適切だった ②あまり適切でなかった ①全く適切でなかった

5) 「**教員指導**」実習期間中、本学教員による巡回指導／実習地訪問や実習指導は、実習を円滑に進めるにあたって、役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

6) 「**意見交換**」実習期間中、実習先の指導者との意見交換は十分行われましたか。

④とてもよく行われていた ③ある程度行われていた ②あまり行われていなかった ①全く行われていなかった

7) 「**実習先熱意**」実習全般を通じて、実習先の指導者の熱意や学生への意欲が感じられましたか。

④とても感じられた ③ある程度感じられた ②あまり感じられなかった ①全く感じられなかった

8) 「**実習環境**」実習を進めるにあたって、施設内／園内・校内／病院内の実習環境、通勤／宿泊の環境などに応じた配慮はされてきましたか。

④とても配慮されていた ③ある程度配慮されていた ②あまり配慮されていなかった ①全く配慮されていなかった

9) 「**実習先評価**」実習終了時、実習先の指導者からの評価や指導・助言は役立ちましたか。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

10) 「**教員評価**」実習終了後、本学教員からの評価や指導・助言は役立ちましたか（報告・発表や事後指導などにおいて）。

④とても役立った ③ある程度役立った ②あまり役立たなかった ①全く役立たなかった

Ⅳ. この実習を行った結果について、以下の項目にどの程度当てはまりますか。

1) 「**業務理解**」実習の内容とその業務がよく理解できましたか。

④とてもよく理解できた ③ある程度理解できた ②あまり理解できなかった ①全く理解できなかった

2) 「**目標達成度**」この実習の到達目標が達成できましたか、または達成できそうですか。

④とてもよく達成できた（できそう） ③ある程度達成できた（できそう） ②あまり達成できなかった（できそうにない） ①全く達成できなかった（できそうにない）

3) 「**興味関心**」この実習により、実習の内容やその業務への興味や関心が喚起されましたか。

④とてもよく喚起された ③ある程度喚起された ②あまり喚起されなかった ①全く喚起

されなかった

4) 「**知識技・態**」この実習により、専門の知識や技能、態度を身に付けることができましたか。

④とてもよく身に付けた ③ある程度身に付けた ②あまり身に付けることができなかった  
①全く身に付けることができなかった

5) 「**学修経験**」課題について、事前学習、観察・傾聴、参加、実践、考察する学修経験を積むことができましたか。

④とてもよく経験できた ③ある程度経験できた ②あまり経験できなかった ①全く経験できなかった

6) 「**多角柔軟**」ものごとを多角的に考え、新たな見方や柔軟な発想などができるようになりましたか。

④とてもよくできるようになった ③ある程度できるようになった ②あまりできるようにならなかった ①全くできるようにならなかった

7) 「**利用者関係**」この実習において、利用者やその家族／園児・児童・生徒や保護者／担当症例やその家族と良好な関係を築けましたか。

④とてもよく築けた ③ある程度築けた ②あまり築けなかった ①全く築けなかった

8) 「**スタッフ関係**」この実習において、実習先の指導者や関係する職員／教員／スタッフと良好な関係を築けましたか。

④とてもよく築けた ③ある程度築けた ②あまり築けなかった ①全く築けなかった

9) 「**具体的理解**」指導を受けた内容を具体的に実施できるように理解し、受け入れることができましたか。

④とてもよくできた ③ある程度できた ②あまりできなかった ①全くできなかった

10) 「**満足度**」総合的に考えて、この実習は自分にとって有意義で満足できるものでしたか。

④非常満足できものだった ③ある程度満足できるものだった ②あまり満足できるものではなかった ①全く満足できるものではなかった

V. この実習における本学教員の関わりおよび実習のシラバスや実習の手引きまたは実習要項などについて、よかった点、改善してほしい点や要望、改善の提案などがあれば、ご意見を聞かせてください(自由記述)。

よかった点

改善してほしい点や要望、改善策の提案など